

授業参観・PTA総会・学年懇談会ご参加ありがとうございました

校長 松澤 朗

総会での話

今年から小泉小学校に赴任された木村校長が、私にこう言われました。「100%ですね。」と……不思議な顔をしている私に、「小泉中学校の生徒は、100%朝出会うとあいさつをしますね。すごい学校ですね。」と話されました。私も朝、生徒玄関であいさつをしています。今年は、生徒会の取り組みもあって、大きな声で、笑顔であいさつができています。気持ちの良い学年の始まりを過ごしています。

今年も私は、まずは「命と時間」を大切にしよう！と言い続けます。取り返しのつかないものということ、つまり中学時代も2度とこないのも大事な時間になります。中学生でしか身に付けられないものを子ども達が、一生懸命に身に付けていけるよう職員一堂頑張ります。また、学校の教育目標でもある「たくましい子」、そして「心豊かな子」になるように人としてのふれあいも大事にしていきたいと思います。今年もよろしく願います。最後に子どもを育てていくときには、ご家庭と学校が協力していくことが最も大切です。ご協力をお願いいたします。

今年も多くの方にご来校いただき感謝しています。子ども達の様子はどうでしたでしょうか？私が、教室を見て回ると、先生も生徒も緊張感の中にも温かい感じのする笑顔で授業に取り組んでいました。これからは宿泊研修の取り組みもあります。学年からのプリント等をご確認ください。

子ども達は、成長していきます。私たちはそのための支援していきます。子ども達は今できないことをこれからできるようになっていきます。まだ、1人前ではありませんが、これから大人の社会に出るために、学校にきています。今後も、頑張っって子どもに力を付けたいと考えています。どうぞよろしく願います。

親が子に与える、脳を育てる生活環境

多治見市教育推進課

良い発達とは、「良い脳の育ち」と言い換えることができ、そしてその脳の育ちの大部分は、周りの大人がつくる環境、すなわち生活によって大きく変わるとことを確信しました。「親が子に与える、脳を育てる生活環境」があります。その具体的な内容は、

- ・ブレない生活習慣を確立し繰り返す
 - ・調和がとれたコミュニケーションを行う
 - ・お互いを尊重して協力しあう体制をつくる
 - ・ストレスの適切な対処方法を共有する
 - ・大人と子どもがお互いに楽しみあう雰囲気をつくる
 - ・大人はぶれない軸をもつ
- の6項目にまとめられます。

ただの育児というニュアンスではなく、脳を育てる順番とバランスを強く意識して大人が子どもに生活の中でかかわっていくことが大切です。

(「指導と評価」2018年4月号 文教大教授 成田奈緒子 より)

生徒の皆さんへのお願いです

皆さんの活躍を私は知りたいです。学校外の活動で、賞を取ったり、入賞したりしたらそのときの表彰状や認定証などわかるものを松澤に見せてください。ダンスでも、書道でも、演奏でも、スポーツでも何でもいいので、教えてください。楽しみに待っています。職員室前に掲示します。